

# 綾高図書館だより

第5号  
【本校図書館発行】  
H30.10

## お知らせ



今年もやります、読書月間企画作家さんへアンケート  
誰からお返事が返ってくるかは送ってみてのお楽しみ！



作家名  
浅井美紀  
石田スイ  
いぬじゅん  
大久保篤  
落合陽一  
梶裕貴  
くも子  
雲田はるこ  
黒木京也  
椎名チカ  
白鳥士郎  
菅野仁

代表作  
幸せのしずく  
東京喰種  
今夜、きみの声が聴こえる  
炎炎ノ消防隊  
10年後の仕事図鑑  
いつかすべてが君の力になる  
織部姉妹のいろいろ  
昭和元禄落語心中  
名前のない怪物  
37.5℃の涙  
りゅうおうのおしごと  
友だち幻想

作家名  
高野莓  
種村有菜  
知念実希人  
二宮敦人  
羽賀翔一  
白米良  
原田マハ  
ふじた  
伏瀬  
箕輪厚介  
森本梢子  
矢部太郎

代表作  
orange  
アイドリッシュセブン  
崩れる脳を抱きしめて  
最後の医者は桜を見上げて  
漫画君たちはどう生きるか  
ありふれた職業で世界最強  
たゆたえども沈まず  
ヲタクに恋は難しい  
転生したらスライムだった件  
死ぬこと以外かすり傷  
アシガール(マーガレット)  
大家さんと僕



## 開館カレンダー

### 10月図書館開館予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 屋のみ 開館	5	6
7	8 体育 の日	9	10	11 2年中間 考査	12	13
14	15	16 1:30 中間考査 午後閉館	17 中間考査 午後閉館	18 中間考査	19 休館	20
21	22 屋のみ 開館	23	24	25	26 屋のみ 開館	27 学校 公開
28	29 代休	30	31			

### 11月図書館開館予定

日	月	火	水	木	金	土
	11月			1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20 休館	21	22	23 勤労感謝 の日	24
25	26	27	28	29	30	

10/27-11/9  
は第72回読  
書週間です。  
本校では、  
11/29-12/21  
を読書月間  
として色々  
なイベント  
を企画して  
います。

## 新着図書案内

### 〇コミック シリーズ新刊

『ちはやふる 39巻』 末次由紀著  
『37.5℃の涙 13巻』 椎名チカ著  
『てい先生 7巻』 ゆくえ高那著

### 〇小説 シリーズ新刊

『ケーキ王子の名推理 3』 七月隆文著  
『さんぽみち ほのぼのログ another  
story』 深町なか著

〇小説の新刊↓(作家名五十音順)

### 『さざなみのよる』 木皿泉著

「すいか」「野ブタ。をプロデュース」の脚本家夫婦がおくる新作小説。43歳で命を終えようとする小国ナスミ。その死は富士山を望む小さな町で、さざなみのように色々な人を揺さぶる。家族、恋人、友人、親子一つながりの小説。

### 『パラレルワールド』 小林泰三著

大地震と洪水が街を襲い、若い夫婦と子供が巻き込まれる。父親が目にしたのは命を落とした妻と生き残った息子。一方母親は夫が行方不明という現実を知る。そして、息子はその両方の世界を見ていた！遠くて近い平行世界が舞台のサスペンス。

### 『梟の月』 小松エメル著

自分がどこから来たのか、誰なのか。全ての記憶を失った男が目覚めたのは、妖怪の世界だった！優しい妖怪たちは彼を「先生」と呼び慕うようになる。その生活は心地よかったが、記憶は戻らない。しかし“二つ目の月”に触れれば記憶が戻ると言われ…

### 『チポロ』 菅野雪虫著

『天山の巫女ソニン』シリーズの著者がアイヌ民族の伝承をモチーフにあらたに送るファンタジー。弱虫の少年チポロが姉のように慕う少女イレシュ。ある日突然魔物にさらわれた彼女を取り戻すため、チポロは弓を片手にミソサザイの神とともに旅に出る。

『ありえないほどうるさいオルゴール店』 瀧羽麻子著

「お客さんの心に流れる音楽”をオルゴールに仕立ててくれます。」

心が聞こえる小さなオルゴール店の店主。その不思議な力で作られたオルゴールは、傷ついた心に届く不思議な音楽を奏でてくれる。

『青空と逃げる』 辻村深月著

父親が起こした交通事故によって、日常生活を捨て、逃げ出す羽目になった母子。事故によって起きたスキャンダル騒動は逃げても逃げても二人を追ってくる。

読売新聞に連載されていた作品を単行本化。

『ぼくときみの半径にだけ届く魔法』 七月隆文著

駆け出しのカメラマンがある日目を奪われたのは、窓辺に立つ一人の少女だった。思わず写真を撮ったことから彼女と対面することとなる。実は彼女には家に引きこもるある理由があつて…。『ぼくは明日、昨日のきみ〜』作者が贈るラヴストーリー。

各分野の専門図書新刊



情報・メディア系の新刊

『東大読書 「読む力」と「地頭力」がいっしょに身につく』 西岡孝誠著

偏差値 35 で東大 2 浪した著者。彼を東大合格へと導いた、東大生の能動的な読書“東大読書”を伝授。

哲学の新刊

『「聴く」ことへの力 臨床哲学試論』 鷲田清一著

「〈聴く〉こととしての哲学の可能性」一人の話を受け止める“聴く”という行為について深く語る一冊。

『「里」という思想』 内山節著

グローバル化が進む現代社会で、人々が幸福を感じられないのは“里”というローカルな場を失ったからでないか？

地理の新刊

『わかりやすいはわかりにくい？ 臨床哲学講座』 鷲田清一著

「人々と対話し思索を深める〈臨床哲学〉」を実践する著者が「家族」「責任」「自由」について思考する。

社会系の新刊

『地球 MAPS 世界6大陸発見の旅 46億年の変遷、地形、気候、動物、人口、建物』

地理雑誌No. 1 ナショナルジオグラフィックがおくる豆知識満載地図本。

経済学の新刊

『朝日キーワード 2019』 朝日新聞出版編

小論文対策に必須の一冊。ここ一年間で話題になったニュース・時事用語を徹底解説。

『「自分」の壁』 養老孟司著

「自分探し」なんてやめなさい、自分なんて地図上の矢印にすぎない、「個性」「自己」なんてさほど大切じゃなかった一目からウロコの自分論。

『人間の安全保障』 アマルテ ィ・セン著

アジア初ノーベル経済学賞受賞者である著者が、人々の安全を守る観点から人権、戦争、グローバリズム、環境問題などを語る。

『高校生からの経済入門』 中央大学経済学部著

中央大学経済学部教授陣が、高校生を「経済学の学びへ誘う」ために考え、作った入門書。

『わかりあえないことから コミュニケーション能力とは何か』 平田オリザ著

作者は日本における、“コミュニケーション能力”の重視に疑問を持つ。「わかりあう」ことからでなく、「わかりあえない」ことから始める新しいコミュニケーション論。

『#社会保障、はじめました。高校生・大学生がポジティブに語ってみたら、』 猪熊律子著

ネット上での“社会保障”コラムの連載をきっかけに行われた、人の“生きやすさ”を支える制度—「社会保障」について高校生・学生が気軽に語り合う哲学カフェの取り組みを書籍化。

『友だち地獄 — 「空気を読む」世代のサバイバル』 土井隆義著

人との衝突を避ける“優しい関係”を重視する今の子供たち。しかしそれが友だち地獄とよばれるしんどさ・息苦しさを生み出している。

